

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	アルプス地域地下水保全対策事業
事業主体 (連絡先)	アルプス地域地下水保全対策協議会 事務局：大町市民生部生活環境課環境保全係 0261-22-0420 (内465)
事業区分	(5) 環境保全に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,722,828 円 (うち支援金：4,578,000 円)

事業内容

松本盆地の地下水脈を一つの「水瓶」と捉え、大町市から塩尻市までの地域において、82か所の井戸について地下水水位の一斉観測を行い、得られた水位から「地下水の等高線」を描くことにより地下水脈の現状を把握。

得られた「地下水の等高線」から、地下水の現状を分析し、地下水の現状について地域住民に対する啓発活動・意見募集等を行い、効果的な涵養対策等による持続的な水資源保全に向けて取組むため次の事業を実施した。



【平成28年3月22日開催】
地下水セミナー／大町市

【目標・ねらい】

- ①地下水状況の把握
- ②地下水保全の普及・啓発
- ③
- ④

事業効果

- 1 地下水水位一斉観測、地下水水質調査事業
今後の地下水保全対策における基礎資料となる「地下水水位等高線」「地下水水質データ」が得られ、直接見えない地下水の状況を「地下水水位等高線図」による視覚化により、地下水の流れや、重点的に取り組むべき地域等の把握ができた。
- 2 地下水保全対策啓発事業
地下水セミナーやパネルを用いた地域住民等への説明など、地域住民とともに水環境について考えることにより、地下水の重要性、水資源保全の必要性に対する認識を高めることに寄与。各種イベントでの啓発やセミナーでの住民等との意見交換等により住民目線の涵養対策を含む水資源保全対策の意見等を伺うことができた。

※自己評価【A】

【理由】
地下水の一斉測水及び水質調査は、予測通りの結果が得られた。
普及及び啓発等は、作成したパネルの展示やセミナーを通じ広く案内ができた。

今後の取り組み

得られた結果をもとに、今後定期的に水位等を観測することが必要であるかが解り、この調査を継続することが、同時に進める様々な涵養対策の効果を長期的に評価することに繋がる重要な活動であると再認識した。

また、重要な水資源である地下水に対する住民の認識が高まったことにより、一人ひとりの取組み、地域ごとの取組みも期待されると共に、生活視点、企業の視点、農業的視点からの意見等により、地

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある